

読んで 楽しく! **横浜の歴史** vol.36
 文: 横浜開港資料館 調査研究員 齊藤 司

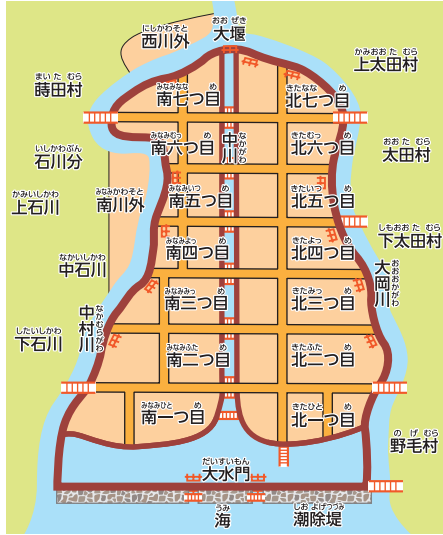
吉田新田③
 一吉田新田の形と地名一

一般に吉田新田の形は、現在のお三の宮日枝神社を頂部、現在のJR根岸線を下部とし、右側の大岡川と左側の中村川によって区切られた釣鐘の形に相似していると理解されている。しかし、当初の吉田新田の形は必ずしも釣鐘型ではなかった。

おおむね成立当初の吉田新田の状況を示す吉田新田概念図(前回と同じ図版)によれば、堤防に囲まれた吉田新田の本体は、おおむね二つの基準によって地名が付けられている。一つは新田の中央を上下に流れる中川で、中川より右側を「北」、左側を「南」としている。釣鐘の頂点が西、海側が東という方位感覚である。なお、現在、関内に存在する「北仲通」「南仲通」という道路名称から分かるように、海側を北とする現在の方向の感覚とは異なっていることに留意しておきたい。

もう一つの基準は新田の内部を左右に伸びる六本の横道で、道を境として海側から順に「一つ目」「二つ目」～「七つ目」と呼称されている。堤防内部における吉田新田の地名は、この二つの基準を組み合わせ、それぞれ「南一つ目」「北二つ目」と呼ばれていた。

ところが吉田新田には、この新田本体とは別に、中村川をはさんで「南六つ目」～「南四つ目」の対岸の「南川外」と、同じく「南七つ目」の対岸に存在した「西川外」(おおむね現在の蒔田公園周辺に該当)が、それぞれ存在していた。開発時における中村川の屈曲に



図版: 吉田新田概念図

ついては何らかの理由・目的があったはずだが、関連資料はなく詳細は不明である。

中村川の流路がほぼ現在と同様になり「南川外」が堤防に囲まれた新田本体に組み込まれるようになったのは、享保16年(1731)に幕府によって実施された大岡川筋の改修工事の際であろう。この工事は、河口部に土砂が堆積して洪水の可能性が高くなり実施されたもので、川幅の拡張や流路の直流化によって、土砂を海面へ一気に排出することを目的とした。そのため、それまで屈曲していた中村川の流れもほぼ現在と同じように真っ直ぐにしたと考えられる。しかし、改修により堤防に囲まれた新田本体に組み込まれたものの、「南川外」という地名は明治以降まで残っている。

ともにつくる vol.33 **教育委員会事務局健康教育課**
共創横濱 × **株式会社横浜DeNAベイスターズ**
 横浜市では企業、NPO、自治会町内会など皆さまとの対話を重ね、新たな価値を創り出す「共創」の取り組みを行っています。
 ☎045(671)4397共創推進課
 www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kyoso/

「青星寮カレー」が給食献立に

横浜市と横浜DeNAベイスターズは、横浜ならではの愛される取り組みを連携して作り出している。その一環に素敵な試みが加わった。それは、ベイスターズ名物「青星寮カレー」を市内の学校給食の献立にするというものだ。

「横須賀にある青星寮はベイスターズの選手なら必ず一回は入る若手選手の寮なんです。その寮でいつでも食べられるように用意されているのが青星寮カレーです。選手全員が知っている名物で、昨年現役を引退した三浦大輔さんももちろん食べていたカレーです」と横浜DeNAベイスターズ広報部の河村康博さん。この名物「青星寮カレー」を、横浜の学校給食で提供できないか、と話があがったのは2015年末。それから、青星寮のカレーレシピを横浜市に提供。試食を重ねるなど調整を続け、横浜市



ラミレス監督と、監督が配膳したカレーをほおぼる豊岡小6年生ら © YDB

が学校給食用にアレンジし、ついにこの5月に市内約340校の給食として、「青星寮カレー」を約20万人の児童たちに提供した。

給食当日は市内の小学校にラミレス監督ら3人がサプライズで訪問。興奮する児童たちの前で、黒羽根選手と下園選手がキャッチボールを披露するとさらに歓声があがった。給食の「青星寮カレー」は豚肉とアメ色に炒めた玉ねぎなど野菜もたっぷり。児童たちからは「まるやかでおいしい」「また食べたい」といった声が聞かれた。

日本最大のクルーズ船 飛鳥II
 6/8(木)
 横浜港を母港とする初の客船、飛鳥IIが入港する(50,142総トン、全長240.96メートル、乗客定員872名)。夕焼け色に染まる空と海と船体の三重奏は、まるで絵画のような美しさだ。星空の下、明かりが灯された幻想的な姿も必見。

主な客船の入港予定
 ・6月12日(月)につぼん丸
 ・6月12日(月)・17日(土)・19日(月)～20日(火)ばしふいっくびいなす
 ※入港予定は事情により変更となる場合あり
 ※横浜港大さん橋国際客船ターミナル着岸予定

入港予定、セレモニーに関する問合せ 横浜市港湾局客船事業推進課 ☎045(671)7272
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kowan>

ソーシャル・コミュニティ・スペース **ソコス**
 TEL 0466(50)5088 FAX 0466(50)5077
 メール socos.yokohama@gmail.com
 SOCOSは「NPO法人 湘南の学校」が運営する地域コミュニティ活性化事業です

小田原まち歩きツアーvol.35
小田原城の天守閣見学と『あじさいと花菖蒲まつり』観賞
海鮮「魚園」総料理長の特別料理の昼食を堪能する、小田原満喫ツアー

昨年5月にリニューアルオープンし、新たな観光名所に生まれ変わった小田原城の見学と、東堀にある花菖蒲園を見学。6,000株の見事な花菖蒲と、2,100株のあじさいを観賞。他に小田原の名店や邸園を巡りながら、昼は清閑亭で海鮮「魚園」総料理長の特別料理を堪能します。

日程 6月19日(月)10時(解散:小田原城二の丸観光案内所 15時30分頃)
 集合場所 JR小田原駅改札出たところ 小田原提灯の下 定員 40名
 参加費 5,000円(小田原城入館料、ガイド代、ランチ代含む)※前・当日のキャンセルは、全額キャンセル料を承ります
 案内 NPO法人小田原まちづくり応援団

読売・日本テレビ化センター
よみうりカルチャー横浜
 2017年7月期(7～9月) ☎045(465)2010 <http://www.ync.ne.jp/>
 受講者募集 横浜駅東口・横浜新都市ビル(そごう)9F

『シーガルシアター』
 そごう横浜店、よみうりカルチャー共同企画

お電話でご予約ください
 資料は無料でお送りします

岸 恵子 トークショーと「からみ合い」上映
 7月3日(月) 12時30分～16時
 会場: 新都市ホール(横浜駅東口、そごう9階) 全席自由 途中休憩あり
 受講料: 会員 3,000円 (よみカル、ミレニアム/クラブ・オンカード会員) 一般 3,500円
 © Ikuo YAMASHITA

よみカル 受講料 6月1日(木)～6月30日(金)まで
体験フェア 1,080円 (税込) 通常の半額程度の受講料で希望のレッスンを受けられます。体験フェア対象講座、日程などの詳細はお電話などでお問合せください。

純烈 JUNRETSU
サマーディナーショー in 横浜
 2017.7.23日

今人気急上昇の「純烈」が横浜ベイシェラトンに登場。
 元戦隊ヒーローの俳優中心メンバー5人が、ムード歌謡を唄って踊るという独自のパフォーマンス。洗練されたフレンチコースとともに楽しいステージをお贈りいたします。

日時: 7月23日(日) 受付16:00～ お食事16:30～ ショー18:00～
 会場: 横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ 大宴会場「日輪」(5F)
 料金: ¥18,000 ※フランス料理コース・フリードリンク・サービス料・税金
 ※チケット発送をご希望の方は発送手数料(申込み1件につき500円)を別途頂戴いたします
 ※席は大テーブルでの相席となります
 ※小学生以下のお子様のご入場はご遠慮いただきます

ご予約 | 宴会予約直通 ☎045-411-1126(受付時間: 10:00～19:00)
 お問合せ | オンライン予約 <https://www.yokohamabay-sheraton.co.jp/event/>

横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ
 〒220-8501 横浜市西区北幸1-3-23 / TEL.045-411-1111